

2007年10月4日

健康保険組合向け、特定健康診査・保健指導の一貫受託体制を共同構築
～健康保険組合等の効果的・効率的なメタボリック対策実施を支援～

三菱化学メディエンス株式会社
東京海上日動メディカルサービス株式会社

三菱化学メディエンス株式会社（以下「MCM」、東京都港区 社長：吉富 敏彦）及び東京海上日動メディカルサービス株式会社（以下「TMS」、本社：東京都千代田区 社長：石井 守雄）は、2008年度から健康保険組合等の医療保険者に義務化される「特定健康診査・特定保健指導」の効果的・効率的な実施を支援する業務の一貫受託体制を、共同で構築することとしました。

背景

2008年4月に「高齢者の医療の確保に関する法律」が施行されることに伴い、糖尿病等を中心とする生活習慣病の発生を抑制し、将来的な医療費の適正化推進を目的に、「特定健康診査・特定保健指導」の制度が導入されます。

この制度により、健康保険組合等の医療保険者（以下「健保組合等」）には、40歳以上74歳以下の加入者（対象者は日本全国で約5,600万人）全員への特定健康診査実施と、メタボリックシンドロームの該当者及び予備軍と判断される加入者への特定保健指導実施が義務付けられることとなりました。

健保組合等からの健診・保健指導業務受託に関しては、従来から、MCMが健診支援業務を、TMSが保健指導業務を、それぞれ受託していました。今回、この2社が共同し、かつこれらの業務を支援する三菱電機グループのITソリューションシステムを採用することによって、「特定健康診査・特定保健指導」を一括して受託することが可能になります。

サービスの特長

2社の連携により提供する本サービスの特徴は以下のとおりです。

- (1) 計画策定から健診事務、保健指導、結果評価、報告などの特定健康診査・保健指導の上流から下流までの業務を一括して受託することにより、データや事務の流れをシームレスにつなぐことができるため、健保組合等の作業を大幅に効率化させることが可能になります。
- (2) 多様な健診・保健指導メニューを全国規模でサービス展開しますので、各健保組合の多様なニーズに応え、健診受診率・保健指導実施率の向上や、メタボリック対象者を減少させる効果的な保健事業に寄与します。
- (3) 2社のこの分野における実績・ノウハウ・技術を活かした、きめ細かな

サービスを提供します。

- MCMは全国で約1,100の健診機関と提携し健診支援業務を健保から受託してきたノウハウを活用し、また、今後提携健診機関数を更に拡充し、受診の利便性の向上をはかります。
- TMSではこれまで約200事業所から受託してきた産業保健アウトソーシング分野での実績・ノウハウを活用し、また他の保健指導提供会社などの協力も得て、保健指導體制の一層の充実をはかります。
- 2社は三菱電機グループが保有するシステム・データセンタ・ネットワーク・セキュリティ技術の支援を得て、各健康保険組合と2社とのセキュリティを確保した業務連携の充実をはかります。

2社では今後、2008年4月の受託サービス開始に向け、健康保険組合等のご意見を盛り込んだ、さらにご利用いただきやすいサービスの提供に取り組みます。

(ご参考) 別紙--- サービス概念図
2社の概要

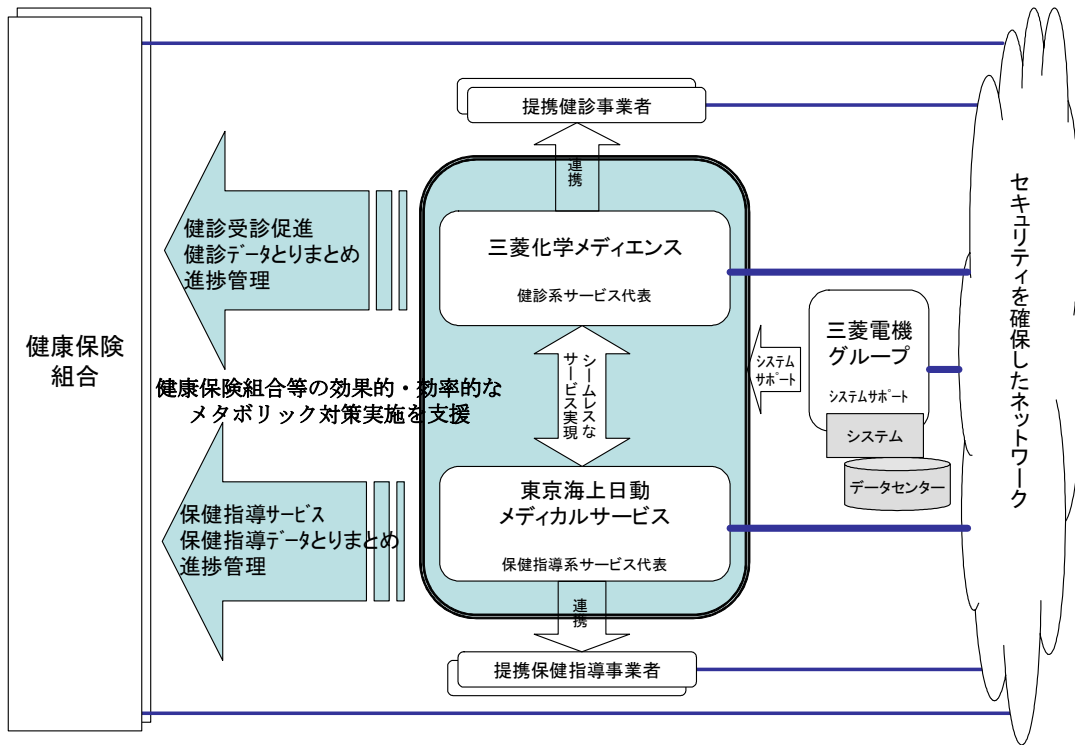
以上

[本件に関するお問い合わせ先]
三菱化学メディエンス株式会社
総務人事部 広報担当 電話 03-6722-4010

東京海上日動メディカルサービス株式会社
健康プロモーション事業部 電話 03-5299-3107

[サービス概念図]

健康保険組合向け、特定健康診査・保健指導の一貫受託体制を共同構築



[2社の概要]

三菱化学メディエンス株式会社

本社 : 東京都港区芝浦四丁目2番8号
 代表者 : 代表取締役社長 吉富 敏彦
 資本金 : 30億円
 発足 : 2007年4月1日
 従業員数 : 連結 3,400名
 事業内容 : 体外診断薬・機器の開発・販売及び輸出、臨床検査、医薬品開発支援サービス、など

東京海上日動メディカルサービス株式会社

本社 : 東京都千代田区大手町2-6-2 (日本ビル)
 代表者 : 代表取締役社長 石井 守雄
 資本金 : 389百万円
 設立 : 1987年1月16日
 従業員数 : 220名
 事業内容 : 医療全般の分析・審査、メディカルリスクマネジメント、健康管理サービス、その他医療関連サービス